

# 相生町のザトウムシ

クモ類・貝類班（徳島県博物同好会） 富 島 啓 次<sup>1)</sup>

## 1. はじめに

ザトウムシは蛛形綱に属し、真正クモに似ているが、クモとは異なる点が多々ある。まず糸腺がなく、糸を出さない。頭胸部と体節構造をもつ腹部とが幅広く接していくびれをつくらない。非常に長い脚を持ち、第2歩脚が最も長く、その先端は触覚のような働きがある。クモとは異なり、乾燥には弱い。湿度の安定した森の中のような環境でなければ生息できないものが多い。県内では、このような環境の減少により、ザトウムシの個体数は年々減少している。

## 2. 相生町で確認されたザトウムシ類

今回の調査で3科10種が採集できたので報告する。調査期間は7月下旬から9月中旬までの散発的な調査になった。なお、坂東治男氏から貴重な資料を頂いたので、これも記すことにする。下記のうち（B）としたのは坂東氏によるものである。ここに記して感謝する。

### OPILIONES ザトウムシ目

#### Phalangodidae アカザトウムシ科

#### 1. *Pseudobiantes japonicus* Hirst, 1911 ニホンアカザトウムシ

2000.7.26. 花瀬龍王神社. 2000.9.29. 西納八面神社. 2000.8.10. 西納八面神社.

2000.9.17. 杉山谷. 2000.8.1. 杉山谷 (B).

赤褐色で歩脚は比較的短い、小型で体調は4～5mmである。落ち葉の中にすむ。触肢は捕獲型で鋭い爪が良く発達している。

#### Nipponopsalididae ニホンアゴザトウムシ科

#### 2. *Nipponopsalis abei* (Sato et Suzuki, 1939) サスマタアゴザトウムシ

2000.7.29. 西納八面神社. 2000.9.17. 杉山谷.

この種は、体長2.5mmであるが鋏角はその倍近くあり、しかも、黒い。落ち葉の中にすむ。県内では広く分布するが、個体数は少なく採集しにくい。

#### Phalangiidae マザトウムシ科

#### 3. *Oligolophus aspersus* (Karsch, 1881) トゲザトウムシ

---

1) 徳島文理高等学校

2000.8.2. 美杉峠 (B).

比較的高山にすむ。頭胸部の前端に三つの棘がある。秋になると背甲が黒化する。

4. *Nelima nigricoxa* Sato et Suzuki, 1939 ヒコナミザトウムシ

2000.7.29. 竹ヶ谷八面神社. 2000.7.29. 請ノ谷天満神社. 2000.9.17. 杉山谷.

2000.8.2. 淡水荘 (B). 2000.8.3. つづら峠 (B).

マザトウムシ科に属するものは、脚の長いものが多いが、この種は特に長い。県内の山地でごく普通に見られる。夏までは腹面が白っぽい、秋になると黒化しとくに基節が黒くなる。

5. *Nelima satoi* Suzuki, 1944 サトウザトウムシ

2000.7.29. 竹ヶ谷八面神社. 2000.9.17. 杉山谷.

前種に近縁の種であるが、湿度の高い、滝のしぶきのかかるような所にすむ。

6. *Leiobunum montanum* Suzuki, 1953 ヤマスベザトウムシ

2000.9.17. 杉山谷.

明るい褐色で、眼球だけが黒いので、いれば目立つ種であるが最近めっきり個体数が少なくなった。

7. *Leiobunum japonicum* Muller, 1914 モエギザトウムシ

2000.7.26. 朴野上龍王神社. 2000.7.26. 蔭谷南杉尾神社.

2000.7.26. 横石杉尾神社. 2000.8.1. 杉山谷 (B). 2000.8.2. 美杉峠 (B).

体長は3mm程度と小さいが、脚は長く第2歩脚は8cmをこえている。

8. *Gagrellopsis nodulifera* Sato et Suzuki, 1939 イラカザトウムシ

2000.8.1. 雄の峠 (B).

5~6月頃成体になる。8月になると幼虫しか見ることができない。うすい緑色の幼虫である。初夏の成体は淡紅色である。

9. *Gagrellula* sp. アカサビザトウムシの仲間

2000.7.26. 朴野上龍王神社. 2000.7.26. 花瀬龍王神社.

2000.7.26. 蔭谷南杉尾神社. 2000.8.10. 西納八面神社. 2000.9.17. 杉山谷.

*G.ferruginer* アカサビザトウムシの仲間、全体に黒く、この種はやや低い所に生息している。

10. *Systemocentrus japonicus* Hirst, 1911 ゴホンヤリザトウムシ

2000.7.26. 朴野上龍王神社. 2000.7.26. 蔭谷南杉尾神社. 2000.8.1. 杉山谷 (B).

腹部背面に5本の棘が並んでいるのでこの名があるが、徳島を含め四国産のものは例外なく6本の棘を持っている。中国地方では5本のもの、6本のもの地域がある。

## 参考文献

- 1) Suzuki, S and Turusaki, N. 1981. Redescription of *Sysutenocenturus japonicus* with Special Reference to its Two Geographic Forms. Annot. Zool. Japon. 54 : 273-283.
- 2) 鶴崎展巨 1996. ナミザトウムシ種群における核型分化・遺伝的分化と交雑帯の性質の解明. 平成7年度科学研究補助金(一般研究C)研究成果報告書.
- 3) 鈴木正将 1960. 北隆館原色動物大図鑑 第4巻:22~25.
- 4) 鈴木正将 1965. 北隆館新日本動物図鑑 中巻:347~355.
- 5) 鈴木正将・鶴崎展巨 1991. 日本産土壌動物検索図説 青木淳一編 東海大学出版会: fig.70~84., 24~28.

3) 4) の図鑑は発行年が古く、一部種名の変更されたものがある。5) の検索図説は、土壌性でない樹幹や草の上で生活するものは省略されている。